

99E7

73□□□

解法の要点

解説

類似問題

基本事項

EPISODE

解離性〈転換性〉障害の症状として誤っているのはどれか。

a 健忘 b 失神 c 離人症 d 痙攣 e 多重人格

離人症とは自分自身の情緒・体験・行動がよそよそしい、自分のものと感じられない、などを感じるもので、一般的にはうつ病、恐怖症性障害、強迫性障害、統合失調症との関連で生じることが多い。

- a 解離性健忘といい、外傷的あるいはストレスの多い性質の最近の出来事に関する記憶を失うことが多く、通常は部分的かつ選択的であることが器質性脳障害や中毒によるものと異なる。
- × b 失神は脳血流量の低下や脳虚血の結果、突然の意識消失をきたすもので、てんかんや弁膜疾患などの器質性疾患や不安発作などが原因となる。
- c 離人症性障害として解離性障害に分類される。
- d 運動および感覚の解離性障害として、失調、失立失歩、失声、痙攣、麻痺など様々な神経症状をきたす。
- e 多重人格障害として解離性〈転換性〉障害に分類される。 **正解 b

★96H8

- 解離性〈転換性〉障害ではその発症にストレスの多い出来事や対人関係の問題が関連しており、その症状は意識的で選択的なコントロールが可能である点において、身体的な障害に起因する症状とは異なる。症状は次の通り。

①健忘、②遁走、③昏迷、④運動障害（失調、失立失歩、失声など）、⑤痙攣、⑥知覚麻痺、⑦Ganser症候群、⑧多重人格

- 多重人格 (by Dr. P)

多重人格（解離性障害の一種）は、症状が印象深くまた映像で表現し易いこともあって、テレビドラマで時々扱われることがある。米国で報告されて以来、日本でも徐々に症例報告が増えているが、なぜか筆者はこれまでお目にかかったことがなく、そのひがみもあってか、うさんくさいものを感じていた。しかし、最近、やっと筆者の前に現れたのである。多重人格は幼少期の心的外傷と複数の人格交代が特徴だが、この患者は約30分の間に3つの人格が交代した。百聞は一見にしかず。なまの症例は勉強になる。